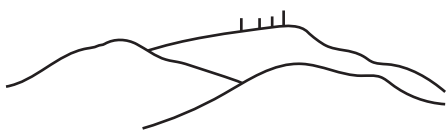


# Youth Manna

2022/4/11 - /4/17



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/4/11(月)

## ダニエル 2:25-49

44 節 「しかし、この国は永遠に続きます。」

ダニエルはネブカドネツアルに対して、主によって力強く夢の解き明かしをする。その夢とは、金や銀、青銅や鉄、粘土といったような、様々な素材でできた像が砕け散ってしまうという内容だった。それらの素材は、当時の強い王国たちを象徴している。

どんなに強い国や王様がいたとしても、その支配は永遠には続かない。いつかは必ず滅んでしまう。みんなの中には、神様よりも大きなものとなって、心を支配しているものはないだろうか？それらもいつかは儂く散ってしまう。

私たちにとって昔も今も、そしてこれからも”永遠”に続き、頼れる方はイエス様だけ。そのことに確信を持って今週も歩んでいこう！

2022/4/12(火)

## ダニエル 3:1-15

ダニエルの3人の友人たちは、ダニエルの願いによってバビロン州の行政をつかさどる高官に任命されていました。

ある時、ネブカドネツアルは金の像を建て、それを拝むように命令を下します。もし拝まなければ死刑となる厳しい命令でしたが、ダニエルの友人三人は神様以外のものを拝むことを拒み、捕まって王様のもとに連行されてしまいます。

三人の信仰から何を学べるだろうか。彼らは人を恐れるのではなく、神様を愛し、神様を恐れて生きていたんだね。信仰によって歩む時に、この世の考えや価値観と衝突する瞬間がある。その時、周りを恐れず、神様を愛し礼拝している自分として歩めるように祈ろう！今日この朝から、神様に心を定めて出ていこう！

2022/4/13(水)

## ダニエル 3:16-30

シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは、激怒したネブカドネツアルから通告を受けたが、「このことについてお答えする必要はない」ときっぱり拒否をした。

彼らは、神が火の燃える炉から救い出すことができるお方であることを少しも疑わなかった。また、「たとえそうでなくても」(18)という言葉は、さらに彼らの信仰を表している。たとえ神が助け出してくれなくても、私たちの行動に何の変化もないと、神のために死ぬ準備さえできていたのである。

どのような状況にあっても、信仰による選択ができるよう祈ろう！

2022/4/14(木)

## ダニエル 4:1-18

今日の箇所ではネブカドネツアル自身に関する夢がでてくる。最高の繁栄を極めていたネブカドネツアルは、夢の意味を知ろうとバビロンの呪法師、呪文師などに尋ねたが、誰も解明することが出来ずにダニエルが呼ばれた。(解き明かしの内容は後半の18日の箇所であらうので割愛する)

神様は夢を通して語られることも、その解き明かしを通して語られることもある。私たちには到底理解できない領域に神様はおられる。

現代において、特に日本のように、なんでもある環境では”ただ生きる”ことはある意味簡単かもしれない。でも神様を抜きに生きる道の最後に待っているのは永遠の死である。神様を愛し、神様に頼る生き方をしよう！！

受難日

2022/4/15(金)

## マルコ 15:1-20

5 節に注目しよう。イエスが偽りの訴えに対して何も答えなくて黙っていたのは、諦めて自暴自棄になったからではない。黙っていた理由は、

*彼は痛めつけられ、苦しんだ。*

*だが、口を開かない。*

*屠り場に引かれていく羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、*

*彼は口を開かない。*

*イザヤ 53:7*

という預言が成就するためだと思われる(マルコ 14:49)。そして、この聖書のことばが成就したのは、私たちが罪を離れて義の道に歩むためだ。今日、時間を確保して1ペテロ 2:21-25 を読み、このときのイエスの気持ちを思い巡らそう。

2021/4/16(土)

## マルコ 15:21-41

イエス様が十字架にかけられ、息を引き取る箇所だね。捕まって、十字架につけられたイエス様を見た人や、捕まえて計画が成功した祭司長たちは、イエス様を馬鹿にして笑った。

そんな中、イエス様は天のお父さんに「どうしてわたしをお見捨てになったのですか」といって祈ったね。人の中で一番信仰があったイエス様の祈りなのに、なぜ神様は聞かなかったのか…それは、私たちの罪をイエス様に負わせることで、私たちが罪と死から救おうとされたからなんだ。イエス様が亡くなった時に神殿の幕が裂けたのは、神様と私たちの関係を閉ざしていた罪という仕切りが、取り除かれたことを意味しているんだ。

自分のために十字架で死を負って下さったイエス様に心を向けて今静まろう。

イースター 2021/4/17(日)

## マルコ 16章

今日はイースター礼拝です。この箇所では、イエスの復活を目撃した女性たちの姿が描かれています。

女性たちはイエス様の復活を弟子たちに伝えられるように命じられましたが、はじめは、恐れて何も言わなかったとも書かれています。しかしその後、女性たちが勇気を出して伝えたイエス様の復活は、全世界に宣べ伝えられ、今を生きる私たちに届いています。

同じようにイエス様の復活の証人として、福音を宣べ伝えるように命じられている私たちは、この女性たちの姿から何を思うでしょうか。私たちが今日、伝えることのできるイエス様の復活のメッセージとはなんだろうか。誰に私たちが伝えたいだろうか。静まり、考えてみよう。